

選挙にいこう！

リバウンド防止推進期間が終わりましたので、本校の学びも段階的に通常に戻していきます。今週は9時半登校の短縮6時間で、11月1日からは8時半登校の短縮6時間とします。登校時間の変化は負担が大きいとは思いますが、皆さんは荒工で社会に出る準備をしているのですから、通常時間への対応を頑張ってください。

さて、10月31日投開票の衆議院選挙が行われます。18歳以上の人は選挙等に参加する権利をもちますので、本校の皆さんも**有権者としての権利の行使を必ずしてください**。政治は一部の人の考えにより行われるべきではなく、様々な世代や職業等、多様な意見や意思を反映して行われなければなりません。そのためにも有権者が積極的に選挙に参加することが必要となります。



そこで一つ提案です。投票は18歳以上となっていますが、日本の未来を語ることは年齢に関係なく行うことができます。18歳未満の人の話をよく聞き、大切に投票する人がいてもいいですね。

折角の機会ですので、**自分が暮らしている地域や社会をよりよくするため、人の生活が豊かになるためにはどんなことが考えられるか、友人や保護者、後輩などと話してみてください**。きっと、様々なことに気が付くはずですよ。

18歳以上の皆さんは、政治に興味を示し、自分たちの未来を創造してください。当日予定があり選挙に行けない場合は、**期日前投票を活用**することを忘れないでください。これも社会に出るために必要なことです。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】授業は先生たちのショーですね。巧みに生徒たちの視線をコントロールして、気付いてほしい、知っていてほしいことを端的に伝える。見事です。情報技術科の小林先生の指導は、「なるほど！」「よく分かる！」と感じました。**説明するときは必ず生徒の視線を確認し、顔を上げさせる**。先に進もうとする生徒にも「今は、説明を聞いて」と声をかける。同時に2つのことをやらせない、一生懸命さを感じる授業でした。



【定時】落ち着いた雰囲気の中、生徒たちの視線をコントロールするのは、工業科の永井先生です。大事な作業ポイントを絞り、分かりやすく伝える。生徒の目線を確認し、説明の理解度が不安な場合は追加説明、ベテランの巧みともいえる絶妙の間合いで、この授業で何をするのか、新しく何を学ぶのかを明確に示した授業でした。



「未来を創る！彩る！荒川工業」